

## 第4学年 学級活動指導案

<場 所> 4年2組教室

<授業者> 中嶋 宏

### 1. 単元名 自分のお金の使い方を見直そう

### 2. 単元の目標

お小遣いについて、お小遣い帳をつけたりアンケートを考えたりして、わかったこと・考えたことを交流し、自らの生活をよりよくするために、お金の使い方を見直し、適切な使い方ができるようになる。

### 3. 単元設定の理由

明るく元気な性格の子が多く、休み時間にはみんなで楽しく学級遊びをしている。授業中の発言は、学級活動や道徳など全員発言ができるようになり、みんなが考えを出し合えるようになってきた。しかし、いつでも意欲的に発言できるのは5～6名で、まだ自分の考えを恥ずかしがったり自信がなかったりして自分の意見を発現できない子も多い。

お小遣いをもらっている児童は学級の中でも5～6人くらいしかおらず、ほとんどの児童が必要なときだけ親にお金をもらっている。たくさんものを買すぎる子や友だちに何かをおごってあげる子はほとんどいないが、中にはカードゲームやプロ野球カードを大量に購入する子やカードと一緒に買いに行くように友だちに言い寄る子もいる。また親の考えの中に、「お小遣いをあげていないから無駄遣いをしていない」という見方もある。お小遣いをもらっている子はたくさんお金を使う子が多いが、中には貯金をしたり計画的にものを買ったりして、考えてお金を使っている子がいる。

この授業を通して、使いすぎ・無駄遣いがどれだけあるのかを1ヶ月のお小遣い帳をつけて振り返り、お小遣いをもらっている子とそうでない子の気をつけなければならないことを考える。しかし、どちらの立場でも使いすぎに注意することや無駄遣いをなくすことなどを見直す授業にしたい。

### 4. 金銭教育とのかかわり 【金銭教育 めざす子どもの姿1 - 】

日常生活の中の“お小遣い”について、自分で1ヶ月のお小遣い帳をつけ、自分たちのお金の使い方を振り返る。また、1ヶ月で「もらったお金」や「使ったお金」や「何にどれだけ使ったのか」を集計する。集計の結果はグラフに表し、自分のお金の使い方を考えさせ、無駄遣いや使いすぎがあればそのためにはどうしたらよいかお小遣いをもらう人とそうでない人の気をつけなければいけないことを交流し、自分自身気をつけなければいけないことを振り返らせる。

この授業を通して、「必要以上にお金を使わず、よく考えてものを買おうとする」「親にものやお小遣いを必要以上にもらわない」「親が働いて得たお金を大切にしようとする」などそれぞれの立場のめあてを考えさせたい。

### 5. 指導計画

時	ねらい	主な学習活動
1. 学活	お小遣い帳の書き方を理解し、自分のお金の使い方を知ろうとする。	・ お小遣い帳の書き方を覚える。 ・ どんなものにどれだけお金を使っているのか調べる。
2. 道徳	家族に感謝の気持ちを持ち、互いに助け合って生活しようとする心情を養う。	・ 「お母さんのせいきゅう書」を読んで、家族の一員としての行動について話し合う。 ・ たかしとお母さんの気持ちを考える。
3. 学活 (本時)	お小遣いの必要性について自分の考えをまとめ、今後の生活に生かすことができる。	・ お小遣いの有用性を考える。 ・ お金を使うとき、気をつけなければいけないことを考え、今後のめあてを持つ。
4. 学活	お金の使い方のめあてが達成することができたか振り返る。	・ 自分のお金の使い方改善できたことを発表する。 ・ お金では買えない素晴らしいものがあるを見つける。

6. 本時のねらい

1ヶ月のお小遣い帳(何にいくら使ったのか)の結果から、使いすぎやむだづかいを減らすためにはどうしたらよいか考え、自分の生活を振り返ることを通して今後のめあてを持つことができる。

	学習活動	指導・援助
課題をつかむ	<p>1ヶ月のお小遣い帳の結果を集計したグラフを見て、感想を交流する。</p> <p>1ヶ月にもらったお金 1ヶ月に使ったお金 親に頼んで買ってもらったお金 1ヶ月にむだづかいしたお金 何にお金を使ったのか</p>	<p>お小遣い帳の結果を円グラフや棒グラフで掲示する。</p> <p>「何にどれだけ使ったのか」グラフでクラス全体の結果を掲示して、使いすぎやむだづかいを考えさせる。</p>
追究する	<p>使いすぎやむだづかいをなくすためには、どのようにしたらよいか考えよう</p> <p>お金を使った物で、必要なものは何だと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ノートなどの文房具</li> <li>・本</li> <li>・のどがかわいたときに買った飲み物</li> <li>・カードなど自分の趣味のもの</li> </ul> <p>お金の使いすぎやむだづかいをしないためには、どのようなことに気をつけるとよいですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月お金をもらっているから、そのおこづかいの中でお金を使うようにする。</li> <li>・あまり多くのおこづかいをもらわないようにする。</li> <li>・ほしいものがあつたときにすぐにお金をもらわない。</li> <li>・お小遣い帳をつけて、何に使ったのかをつけておく、</li> <li>・ものを買うときに、必要なものかどうか考える。</li> </ul>	<p>カードなど趣味のものが出たら、本当に必要なものか問い返したり、いくらぐらいまでならむだづかいではないか考えさせたりする。</p> <p>これまでのお金の使い方を振り返り、気をつけることを発表させる。</p> <p>どうしてそう思ったのか聞き返し、自分の思いを出させる。</p>
まとめる	<p>今後、お金の使いすぎやむだづかいで気をつけることをカードに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親にものをねだったり買ってもらったりすることを我慢する。</li> <li>・お小遣いの範囲内でお金を使うようにする。</li> <li>・親が働いて得た大切なお金だということを考えて無駄使いしない。</li> </ul> <p>カードに書いたことを発表する。(決意表明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習に必要なノートや文具にだけおこづかいを使う。</li> <li>・必要でないものに使うお金を、月に100円減らす。</li> </ul> <p>教師の価値付け 生きるお金とは、自分や人の喜びにつながる。</p>	<p>お金の使い方について目標を立て、1ヵ月後に無駄遣いをなくして生活できたかどうか見直す。</p> <p>むだづかいをしていた児童に決意を発表させ、今後のお金の使い方を見ていく。</p> <p>&lt;評価基準&gt; 「お金の使い方やむだづかいを減らすための具体的実践方法を決めることができる」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分にとって必要なものだけ買う</li> <li>・いらぬものに使うお金を100円減らす。</li> </ul>

